麗日

第95号　平成30年1月

医療法人
長谷川会　湘南ホスピタル
藤沢市辻堂3−10−2
TEL 0466−33−5111
発行責任者　服部 正明

冬の新潟平野　　撮影：小島　久雄

迎　春

明けましておめでとうございます。

辻堂海岸に立てば青い海、江ノ島、富士山、そして暖かい日差し･･･。平和で穏やかな1年であるようにと願います。2025年を目標に、住みなれた地域で安心して最後まで暮らせるしくみ「地域包括ケアシステム」の構築を、国はめざしています。辻堂や近隣地域も、医療・介護連携の「顔の見える」ネットワークが広がりつつあります。法人の理念、人を暖かく迎える医療－地域の健康の守り手・高齢者を支える医療・心を大切にする医療－を再度こころに刻み、新年をスタートしたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。

湘南ホスピタル・ケアポート湘南・コスモス訪問看護ステーション

理事長・院長
木原 明子

新任と新年のご挨拶

一般内科
壬生倉 洋介 医師

マインツ大學名誉博士号
日本救急医学会専門医
日本外傷学会専門医

1日変わるだけですが、大晦日から元旦に変わると、何故か日が長くなったような錯覚を昔から感じております。(実際、冬至以後、日自体は長くなっているのですが・・・)。

まず、新年。本年が皆様にとって充実した年でありますようご祈念いたしております。

私、昨2017年の10月より勤務させていただいております。

平成8年に東京医科大学を卒業し、ドイツはマインツ大学では、客員として招致頂き、ライン川沿いの古く美しい街で 貴重な体験を沢山させて頂きました。

専門は救急で、殊に外傷や重症疾患ですが、在独中には、心身医学教室と哲学教室にも籍を頂き、究極のところ 病気／怪我 でなく、それらを背負った「人」、「それぞれの人生や経験に基づいた 想い出や考え を持った 人」と相対していることが学び取れたことが、芸術、科学、医学、宗教等 深い歴史をもったドイツで得ることができた最大の喜びです。

真夏は夜10時近くまで明るいため、仕事が終わってからでも、毎日毎日ライン川を散歩し、数百年続くカフェやバーでビールを堪能し、地元の方々と気さくにお話し、休みにはヨーロッパ各地をリュックサックひとつで旅をして、数え切れない方々と 数え切れない会話や体験をさせて頂きました。言葉や習慣、文化の違いで他国の留学生と喧嘩になることもありましたが、最終的には 理解し合え、結局 本気でぶつかると「人」って共感できるものだと 深く感じました。

ドイツ・ライン川

現在 子育ての中で、様々な新しい体験や方々との出会いがあります。人間関係に深い共感を求めようとすると、最近は、とかく避けられることがあるのですね。物騒な事件が多いこともあるのだろうな、等と考えつつ、厳しく寂しい時代になっていると感じます。私の力は微々たる物で、行える範囲もとても狭いものですが、出会えた以上は、「人と人」が基本にあることを信じて、何かが共感できるように お手伝いさせて頂きます。病気でも、怪我でも。

壬生倉 医師 外来診療日

・毎週 土曜日 (午前のみ)

※予約制ではありません。受付順になります。

新年あけましておめでとうございます。

一般内科
田中 裕規 医師

桜の美しい京鎌倉往還の街道辻で、地元に愛されての88年の医療法人長谷川会湘南ホスピタルの米寿の歴史を踏みしめながらの初通勤から、早いもので10ケ月経ち、昨秋には、常勤となっております。主に内科病棟を受け持っており、曜日によって内科一般外来も診ております。

病と日々戦っていらっしゃる患者様、支援して向き合っていらっしゃるご家族の皆さまの益々のご隆盛とご幸運を、年頭に医師として祈念申し上げます。

不治とされた分野にも医療は見通しを見出し始めています。私たちの感性は、一人一人の存在の大切さをかけがえないものと人生の重みを学んできております。医療界では、PS細胞の臨床応用の流れも見られ、自己再生力の恩恵を受けられる時代が近付いてきているとも論議され始めました。

湘南ホスピタルでの皆様のご病気と直結する時代は近付いているようです。

名古屋大学医学部時代は、三次救急で高名な東海地方の総合病院の内定を受け、指導を受けに出入りする中で、整形外科分野と、内科分野を併せて勉強していこうと考えて、現在に至っております。

お世話になった、母校関連病院では、内科系も外科系も、また、麻酔科のドクター、脳外科のドクターと、手術助手として経験を積み、手の外科の分野でご高名な長野教授の手術見学も経験させていただき、専門医資格を一つの分野には、決め難い程の幅広く教えていただけましたことを、今も感謝しております。内科当直での深夜呼び出しを受け、先輩医師と一緒に夜通し、語らいもした研修医生活でした。

私立大優位のゴルフ部では滅多にない好順位となった個人戦10位入賞を、大学対抗戦の兼部出場がきっかけで、2年次に受賞したことから、大学教授会推薦のドイツフライブルク大学での短期留学を、3年次には留学満期前に修了させて帰国し、対抗戦に出場しております。西日本医学歯学薬学部学生総合体育大会のゴルフ部門優勝杯を主将として受取り、個人成績は準優勝タイスコアでした。翌年、個人部門優勝を経験しております。全学部ゴルフ部でも、対抗試合選手の5人に選ばれ、春も秋も三連続でリーグ入れ替え戦参加を通して、スコア採用4人となったことで、母校 名古屋大学の二部リーグ昇格の一助となった大学運動部体育会生活を過ごし、スポーツ全般を愛好しております。

日本救急医学会所属医師の一人です。医師会健康スポーツ医資格を有します。弓道も段位を持ち、武道関係の行事開催帯同の経験を持っています。競い馬神事では、八王子市まで出向いたこともあります。

また、スキューバーダイビングをいたすことから、DAN Japan(Divers Alert Network Japan) に以前から参加しています。なかなかまとまった休暇は取れず、海外の海に潜る事は頻回にできないですが、掲載の写真は、甚平鮫との海中ショットを、go-proで撮ったものです。水深15m程での写真等を趣味にしており、本年の夏こそはしっかり作品を作ろうかなと思っています。なお、医師会認定産業医資格所持、公益社団法人日本産業衛生学会専攻医名簿にも氏名記載中です。

本年も宜しくお願い申し上げます。

田中 医師　外来診療日

・毎週 月曜日（午後のみ）※予約制ではありません。受付順になります。

外来新任医師紹介

○ 呼吸器内科　木村 泰浩（きむら やすひろ）医師

はじめまして。10月から前任の牛尾先生に代わり外来を担当させていただいている、呼吸器内科の木村泰浩です。山口県出身で現在横浜市立大学呼吸器内科学に属しています。最近は忙しくてなかなかできていませんが、テニスを同僚などと共にしてストレスの発散をしています。また大学の時に始めたダイビングが趣味で毎年の夏は沖縄や、石垣島にダイビング旅行しきれいな海で魚をみることを楽しみにしています。ここ最近はマンタをみることができる石垣島に行くことが多いです。

呼吸器は風邪である上気道炎や気管支喘息、肺気腫、肺炎、肺癌等とさまざまな病気を領域としており、患者さんの訴えも様々です。日々の生活に影響する病気も多く少しでも体調をよりいい状態で管理できるよう頑張っていきます。よろしくお願いします。

診療日　毎週　木曜日　午後

○消化器内科　堤 菜津子（つつみ なつこ）医師

診療日　毎週　月曜日・木曜日　午前

地域包括ケア病床開設後の経過

3階病棟看護科長
山田マユミ

1年間の準備期間を経て、2017年4月より地域包括ケア病床を開設し、3階病棟は地域包括ケア病床35床と医療療養病床9床でスタートしました。地域包括ケア病床の役割は急性期治療後の患者の受け入れ、在宅や施設からの緊急時の受け入れ、患者の在宅復帰への支援です。

まず急性期治療後の患者の受け入れでは、急性期病院からの転院依頼を地域連携室が受けます。その情報を基に医師、地域連携室、退院支援専任看護師、リハビリ室、事務、病棟看護師がそれぞれの立場から受け入れ可能かどうかを毎朝ミーティングで検討しています。

在宅や施設からの緊急時の受け入れは、訪問診療や訪問看護ステーションを通しての依頼や外来受診時に入院が必要と判断されることもあり、緊急の依頼はすべて受け入れます。患者の入院がスムーズに受け入れられるように、特に外来との連携用紙での情報交換を行っています。

もう1つの大きな役割は在宅への復帰支援です。診療報酬上求められる在宅復帰率を毎朝のミーティングで確認しながら退院や療養病床への転科の時期を決めています。また退院支援をチームで行い、入院期間60日以内に自宅や施設へ退院できるように地域連携室や退院支援専任看護師、薬剤科や栄養科、リハビリ室など、チームとして在宅復帰への支援を行います。特に退院に向けては日常生活動作の維持・向上のためリハビリが重要になります。毎朝のミーティング時での当日の担当看護師との情報交換、週1回のリハビリカンファレンスを通してリハビリ計画やゴールの共有、患者の体位や自立支援上のレクチャーを受けるなど、リハビリ室と協働しています。

地域包括ケア病床開設後6ケ月の間、在宅復帰率と重症看護必要度については診療報酬の施設基準をクリアしています。はじめは退院支援に戸惑いながら支援していた病棟スタッフたちでしたが、徐々に力を発揮してきていると感じています。

地域包括ケア病床におけるリハビリテーションについて

リハビリテーション室
理学療法士　北井美奈

皆様こんにちは。2017年4月から開設した地域包括ケア病床でのリハビリテーションがどのように行われるかについてお話させて頂きます。

地域包括ケア病床に入院後、主治医の指示により訓練が開始されます。全身状態が安定していれば早い方で入院当日からとなります。初回は患者様やご家族の希望をお伺いし、身体機能や動作能力の評価をします。退院後の生活環境などを加味し総合的に判断した上で訓練の目標及びプログラムを設定します。これらの内容は病棟の看護師らチームスタッフで情報共有することで病棟の生活でもリハビリが出来るようにします。訓練は月～金の平日、40～60分間マンツーマンで行います。内容は筋力強化、歩行訓練、日常生活動作訓練などで、必要があれば作業療法士による認知機能向上訓練（流行りの脳トレです）も同時に行って脳機能を賦活し、運動機能を効率良く向上させています。日常生活動作訓練とはトイレ・入浴・着替えなどの練習になりますが、リハビリ室だけでなく病室のベッドで起き上がりや立ち上り、病棟のトイレでズボンの上げ下ろしや浴室で浴槽の出入りの練習なども行います。また、病棟での問題点をリハビリカンファレンスや日々の情報交換を通して相談しながら退院に向けてより安全な動作を獲得して頂きます。

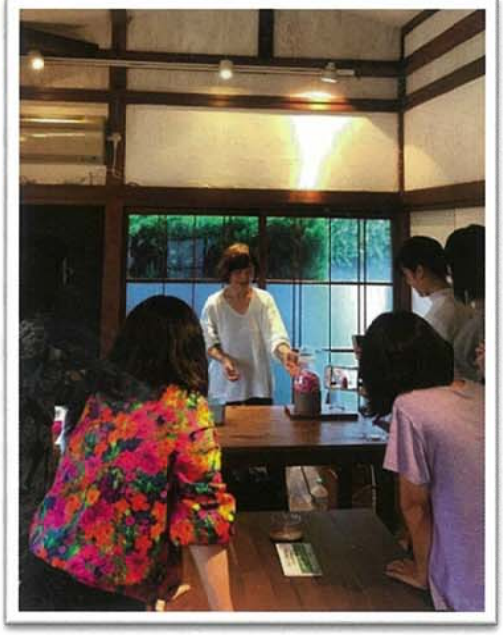
退院日が近づいてくると、ご家族やケアマネジャーと連携を取って在宅での生活環境を具体的に設定していきます。退院前訪問としてご自宅へ伺わせて頂き、手すりを付ける位置、段差の解消、福祉用具の選定、住宅改修などのアドバイスを行います。介助者の方にはリハビリの見学や介助方法の指導をさせて頂き、患者様の身体能力や日常生活での注意点などをご説明致します。また、実際に見学されると介助をする側・される側の両者の動作を客観的に見ることが出来、介助方法を理解しやすくなります。更にその場で練習して頂くことで退院前に問題点を修正することも可能です。
介助する側・される側が共に楽な介護を目指しています。

このように地域包括ケア病床のリハビリテーションは在宅復帰を目標に進めていきます。病棟のチームスタッフ・ご家族・ケアマネジャー等それぞれとの連携を強化し、安全でスムーズな在宅への橋渡しが出来るようリハビリテーション室一同頑張っていきたいと思います。

1日丸ごとバラ体験！

薬剤科長 佐藤 玲子

台風の近づく10月22日「1日丸ごと体験！バラ農園&水蒸気蒸留の会」というイベントで水蒸気蒸留を担当しました。
まずは、バラの農園見学です。横田園芸さんは、地元平塚で無農薬・無肥料で食用バラ（エディブルフラワー）を作られています。
一般的に花店で販売されているバラは化学肥料や農薬が使用されていますので食べることはできません。しかし、「無農薬で育てられるなら食べられるバラが作れるはず」と栽培に挑戦されています。
農園では、実際にバラの味見、香りのテイスティングをさせて頂きました。それぞれのバラは色だけでなく、香りも味も違うのです。
肥料や農薬の影響でぼけていた香りは、一般的なバラよりもはるかに濃厚になるそうです。



バラ農園を見学した後は、大磯のカフェ湘南雑貨屋Sala(サラ)さんに移動。
朝摘みの無農薬バラを水蒸気蒸留してローズウォーター作りを行いました。
贅沢にもこのバラを、参加者の皆さんに花弁だけにほぐしていただきます。
作業中は良い香りに包まれ幸せな気分です。

ローズウォーターをはじめとする芳香蒸留水は、ハーブウォーター、フローラルウォーターとも呼ばれ、材料となる植物を水蒸気で蒸留して精油（アロマオイル）を抽出するときにできる副産物です。植物の持つ水溶性成分や微量の精油成分が自然な形で含まれています。精油と異なる点は成分濃度が極めて薄い事。主成分は0.1～0.01%と生理活性は低いですが、安全性が高いといわれます。作用が穏やかなので、肌が敏感な人、乳幼児・高齢者にも活用しやすいとされています。原始的な蒸留は、紀元前5千年頃から行われたといわれます。
初めて見るガラスの蒸留器に参加者の皆さまは興味津々です。
120ｇのバラの花弁を使って約200mLのローズウォーターができました。
そして蒸留の後はお楽しみ、バラのお花をふんだんに使ったサラさんの贅沢ランチ。バラの花の味が活かされて、見た目が素敵なだけでなく更に美味しくグレードアップされていました（どれもこれも本当に美味しいのです）

最後は、地元大磯のお花やさんetela（エテラ）さんのバラのブーケ作りのワークショップ。季節の植物も使い、シックな色味の素敵なブーケができました。仕上げのラッピングまで心をこめて ご自分の為に作る貴重なブーケです。
同じ素材なのに、それぞれ個性豊かなブーケができました。
外は、大荒れのお天気でしたが、バラづくしで大満足の充実した1日となりました。

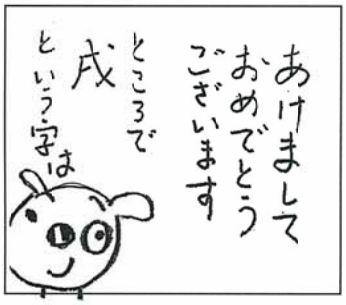
セイム・セット

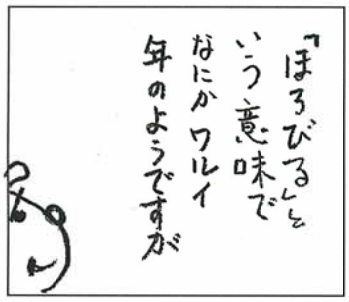
あけましておめでとうございます。
今年もパズルを楽しんでください。

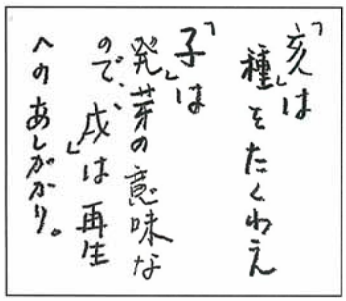
7種類の絵が5つずつセットになっていますが、同じ5種類のセットは、1組（2セット）しかありません。何番と何番でしょう？

◆応募方法　答え、住所、郵便番号、氏名、フリガナ、年齢、電話番号をはっきり書いて、待合室横の投書箱に入れるか、ハガキで送って下さい。ハガキの場合の宛先は当院「麗日編集部」まで。1人1枚に限ります。
なお、読者の皆様からお預かりした個人情報は、当院が責任を持って管理いたします。
◆賞金　正解者の中から1人に1万円、2人に各5千円、20人に図書カードを抽選で。
◆締め切り　5月末日
◆発表　賞品の発送をもってかえさせていただきます。
◆10月号の答え「10」

思ホス







医療法人長谷川会 湘南ホスピタル 外来診療担当表

赤字は原則として予約制です。曜日により専門科の医師が一般内科の診療も行います。 H30.1.1現在

診療科		月	火	水	木	金	土
一般内科	午前	堤	黄(麗)	松井	堤	松井	木原
			木原			木原	壬生倉
	午後	田中	鬼頭	長島	木村	鬼頭	
			木原 (第3週休み)				
呼吸器内科	午前		木原			木原	木原
	午後		木原 (第3週休み)	長島	木村		
消化器内科	午前	堤	黄(麗)	黄(沽)	堤	黄(沽) 10:00～	
	午後			黄(沽)		黄(沽) (第1・3週)	
循環器内科	午前				菊地		
	午後				菊地 14:30～		
神経内科	午前	安徳	安徳	松井		松井	
	午後	安徳	鬼頭			鬼頭	
精神科	午後			丸田			
整形外科	午前						吉田
糖尿病内科 内分泌内科	午前			廣井	小林		
泌尿器科	午後		大高 (第1・3週) (14:00～16:00)				
栄養相談	午後				管理栄養士		
特定保健指導	午前	管理栄養士	管理栄養士	管理栄養士	管理栄養士	管理栄養士	管理栄養士
	午後	管理栄養士	管理栄養士	管理栄養士	管理栄養士	管理栄養士	
禁煙外来	午前		木原			木原	
	午後			木原 (18:00～19:00)			

午前受付時間 8:00～11:30(診療開始 9:00)
午後受付時間 11:30～16:30(診療開始13:30)
電話問合わせ 8:45～11:30 13:15～16:30
休診日 土曜午後・日曜・祝日
〒251-0047 藤沢市辻堂3-10-2
TEL. 0466-33-5111 FAX. 0466-36-5116
ホームページURL http//www.shohos.org

禁煙外来は水曜夕方も行っています。
仕事帰りにいかがですか？(予約制)

平成29年度第4回地域連携講演会ご案内

日時 平成３０年２月６日（火） １８：００～１９：００
講演 「認知症ケアを共に考える」
対象 介護施設等に勤務されている方（職種は問いません）
講師 湘南ホスピタル 副看護部長 井上和子
内容 認知症ケアについての講義、認知症ケア専門士（看護師）による寸劇など。
定員 ３０名
場所 湘南ホスピタル ２階患者食堂
※先着事前申込み お問い合わせ ０４６６－３３－５１１１（代）地域連携室